

令和7年度事業報告
社会福祉法人檀原ふれあいの里福祉会

〈令和7年度主な取り組み〉

- 4月
 - ・ 辞令式・入所式
 - ・ 利用者健康診断
 - ・ 職員研修（非常災害対策/感染症予防）
- 5月
 - ・ 個別支援計画作成（令和7年度総括/令和8年度計画）
- 6月
 - ・ 理事会・評議員会開催（令和6年度事業報告/決算報告の承認）
- 7月
 - ・ 「親亡きあとのセミナー」開催（檀原神宮養成殿）
 - ・ 職員研修（虐待防止/身体拘束廃止）：日中活動/グループホーム職員
 - ・ 職員研修（ハラスメント禁止について）
 - ・ 送迎用バス「コースター」買い替え
- 8月
 - ・ 職員研修（感染症予防②）
 - ・ 夏期休暇
- 9月
 - ・ 介護等体験受入（8日～12日/22日～26日）
 - ・ 外出（御朱印あつめ：檀原神宮/村屋神社）
 - ・ 避難訓練（日中活動）
- 10月
 - ・ 十市神社秋祭り参加（模擬店出店）
 - ・ 実習生の受入
 - ・ 避難訓練（グループホーム）
 - ・ 個別支援計画見直し
- 11月
 - ・ 十市町菊花展参加（さをり織り/アイロンビーズ作品展示）
 - ・ 職員健康診断
 - ・ 職員研修（防災訓練/救命救急：於かしはら安心パーク）
 - ・ 利用者日帰りバス旅行（大阪ニフレル→千里阪急ホテル）
 - ・ インフルエンザ予防接種
- 12月
 - ・ クリスマス会
 - ・ 日中活動仕事納め（28日）
- 1月
 - ・ 初詣/仕事初め（5日）
- 2月
 - ・ 虐待防止研修参加（大和高田産業会館）
- 3月
 - ・ 作品展示会「アンコール2026」開催（於檀原文化会館展示室）
 - ・ 施設内研修（虐待防止/身体拘束廃止）
 - ・ 避難訓練（日中活動/グループホーム）
 - ・ 理事会（令和8年度事業計画並びに予算の承認）

〈その他の取り組み〉

- ・ 音楽療法 月2回
- ・ さをり織り 週4～5回
- ・ 陶芸 週2回

〈訓練事業〉

- ・ プラスチック製品の組立加工
- ・ 外部施設の清掃作業
- ・ 手作り作品の販売



2025年（令和7年）度事業報告
社会福祉法人檀原ふれあいの里福祉会

今年度は、利用者さん、職員とも感染症による長期欠勤者は居ませんでした。手洗い、消毒等は継続していますが、マスクの着用は徐々に減ってきて、以前のような大きな声や笑い声が各所で聞こえてくるようになりました。

反面、利用者さんの高齢化に伴う転倒事故が2件起きました。1件は、お昼休みに職員と散歩をしていた50代の男性が足元がふらついて転倒してしまいました。額を縫うケガと足の指を骨折したことで自宅で2か月療養されました。

もう1件は、グループホームに帰って来た60代男性が、背中のリュックの重みでバランスを崩し仰向けに倒れ、病院で診察を受けることになりました。幸い大事にはいたりませんでした。どちらの事故も職員が傍でついていながら防げなかったことが、非常に残念で悔やまれます。

これからも、高齢化に伴い足元のふらつきが心配される利用者さんが増えてくることは現実です。早速、全グループホームの手すりを確認して、安全に移動ができるように改善しました。又、ご家族と相談して、施設外での移動（車道に並行した道路など）の際は安全を優先して車いすを使用することなども一部理解を得て対応することとしました。

高齢化が進む中で、事故やケガを覚知した際、職員一人ひとりが、初動対応をどのようにとるかどうかで利用者さんの生命にかかわることを再確認して、利用者さんと職員との信頼関係が喪失しないためにも原因を解明して早期改善につなげ、再発防止に努めていきたいと思います。

令和8年3月27日～29日の3日間、「アンコール2026」を開催致しました。利用者さんが制作したアート作品を檀原文化会館にて展示しました。短い期間でしたが、大勢の方に足を運んでいただき、制作した利用者さんにとっても非常に大きな自信に繋がりました。様々な感想を寄せていただき今後の励みとなりました。

この取り組みは、たくさんの方に施設を知っていただける材料となりました。求人募集に応募してくださった人が「ホームページを見て法人の取り組みに興味を持った」と応募の理由を述べる人も出てきました。

利用者さんが表現するアート作品の底力は、もっとたくさんの人に見てほしい、知ってもらいたいと願っています。そして、これからもその機会と出番を探していきたいと考えます。

職員は、不足気味ですが、令和6年にミャンマーから技能実習生として来日した女性3名は、日本語も随分上達して、日々の記録など、日本語で書けるようになりました。介護職としても大きな戦力となりました。グループホームの夜勤も徐々にこなせるようになってきました。利用者さんとの対応も丁寧で、人材不足の窮地を救ってくれました。

運営面においては、人件費が大きく膨らんだため、次年度は危機感をもって次に繋がります。給与賞与、手当加算等の見直しも考慮しながらも、職員一人ひとりが、やりがいを感じて魅力ある職場として定着してくれるように話し合いの場を増やしていきたいと思います。

令和7年度〈退職者〉常勤3名 〈入職者〉常勤2名 非常勤2名

令和7年度、法人における人権侵害（虐待/身体拘束）の事案件数はゼロでした。施設に対する要望はありましたが、苦情と判断される事案は特にありませんでした。